

2008年8月11日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント**宇佐美 博高から皆様へのメッセージ**

変化を好機へ

先日発表された2007年の「主要商品・サービスシェア調査」によりますと、国内100品目の中で、10品目の首位が入れ替わりました。それらの分野も、自動車（軽自動車）、エレクトロニクス、情報・通信、エンターテインメント・メディア、住宅、食品、サービス、と多岐にわたっています。首位が入れ替わった原因としては、M & A（合併・買収）や業界再編によるシェア拡大も含まれるものの、やはり、顧客に支持される製品・サービスを的確に提供できる企業が成長・拡大する一方、旧来の発想から抜け出せない企業が淘汰されていく、という「新陳代謝」があらゆる業界で起こったため、といえましょう。

翻って2008年を考えますと、日本経済は景気後退局面に入っているといわれていることから、さらに新陳代謝が加速するのではないのでしょうか。即ち、景況感が良い時と悪い時では、顧客が求めるものは明確に異なってきます。例えば、景気後退局面では、消費者は従来以上に安さを求めるでしょうし、法人顧客は合理化・コスト削減に寄与するモノやサービスを求めるようになる傾向にありましょう。こうして、2007年までの景気拡大時とは異なる商品やサービスが受け入れられる可能性が高まってくるのが考えられます。そして、このように変化する状況は、新たな視点から柔軟に成長・拡大を目指している新興企業にとっては、一段の飛躍の好機にもなり得るといえます。実際に、変化を好機と捉え、業界の「新陳代謝」を進めるべく高い志をもって革新に挑戦し続ける企業は、数多く活躍しています。

例えば、電極塗布装置や計測装置メーカーの「プロデュース」は、独自の技術を活用して、顧客企業の製造工程の革新を提案することで、受注高を伸ばしています。具体的には、コンデンサなどの小さな部品に微細な電極を効率的に塗布形成する技術です。これが、生産効率や材料使用効率の向上を求めるコンデンサメーカー、太陽電池製造装置メーカー、液晶製造装置メーカーなどからの支持を集め、設備投資全般が減少する中でも合理化需要を取り込んでいます。

1/4

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

また、九州を地盤とするドラッグストアの「コスモス薬品」は、『ディスカウント』を重要なキーワードと位置付け、食品や紙などの値上がりが続く中でも、地域一番の低価格路線を堅持することで消費者の支持を得ています。加えて、徒歩・自転車での来店がメインとなる、15,000～20,000人の小商圈をターゲットにしたメガドラッグストアを多店舗展開するという事業戦略をいち早く構築していました。これが、最近のガソリン価格高騰により自動車での来店が手控えられる風潮さえも追い風にして、既存店売上高を伸ばすことに成功しています。

世界に目を向けますと、中国国内ではいよいよ北京五輪が開幕し、五輪ムードが高まっています。一方、上海総合指数が半年以上下落傾向にあることが示すように、中国の株式市場は楽観ムードには程遠いようです。昨年の今頃、五輪に向け中国の高成長・高株価が持続する、という楽観的な見方が多かった時と比べると、様変わりの状況です。「強気相場は悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、幸福感の中で消えていく」という格言がありますが、昨年从今年にかけての中国株式市場は、この後半部分の典型例となっているように感じます。一方、日本の新興市場に目を転じますと、2006年1月のライブドアショック以降の大幅下落を経て、今はまさに「悲観の中」に位置するものといえるでしょう。こうした状況を経ていずれ生まれてくるであろう次の局面に備えて、経営者の方々との個別直接面談を徹底しつつ、変化の兆しを見逃さないよう細心の注意を払いながら、引き続き、魅力的な「高成長割安50社パッケージ」をお届けしたいと考えています。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

本資料では、個別銘柄に言及していますが、これは当該銘柄の組入を約束するものでも売買を推奨するものでもありません。

上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【未上場株式などの組入リスク】

<低流動性資産のリスク>

未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、基準価額に影響を与えることもあります。

<財務リスク>

未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合があります。このような懸念が生じた場合、基準価額に影響を受けることも考えられます。

<その他の留意事項>

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めさせていただくために作成した販売用資料です。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型株式投資信託 / 国内株式型 (中小型株型) / 自動けいぞく投資適用
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の基準価額
 信託期間 : 平成25年7月17日まで (平成15年7月18日設定)
 決算日 : 毎年7月17日 (休業日の場合は翌営業日)
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
 ご解約価額 : 解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
 ご解約代金のお支払い : 原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金 (解約) 時および償還時の差益は課税の対象となります。

詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

- 手数料等の概要 : お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

< お申込時、ご換金 (解約) 時にご負担いただく費用 >

- お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15% (税抜3%) を上限として販売会社が定める率とします。
 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金 (解約) 手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額 (1口当たり)

< 信託財産で間接的にご負担いただく (ファンドから支払われる) 費用 >

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.995% (税抜1.9%) を乗じて得た額
 その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第368号
 加入協会: (社) 投資信託協会、(社) 日本証券投資顧問業協会
 投資顧問会社 : エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404
 (午前9時～午後5時、半休日となる場合は午前9時～正午。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	(社) 投資信託協会	(社) 日本証券投資顧問業協会	(社) 金融先物取引業協会
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第58号				
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第129号				

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書 (交付目論見書) を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。